議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会	主催者 電氣 学会
	(H21年度第1回)	
日時	平成 21 年 6 月 17 日	場 所 日本交通協会第2会議
	14:00~ 17:00	室(東京)
出席者	- 瀬(電中研)、岩城(日立)、下山(東大)、	石渡(東芝)、木村(古河)

【提出資料】

- 1)前回議事録
- 2) 0 2 2 5 · 1 : 平成 21 年度 全 属・セラミックス技 術委員 会活動計 画
- 3) 0 2 2 5 ・ 2 : 平成 21 年度金属・セラミックス技術委員会分掌
- 4) 0 2 2 5 3 : 平成 21 年度電気 学会全国 大会シンポジウム 講演日程別セッション

- 覧

- 5) 0 2 2 5 · 4 : 平成 21 年度東京 支部連合研究 会開催區 力依頼文書
- 6) 0 2 2 5 · 5 : 技 術報告 書推薦依頼文書
- 7) 0 2 2 5 6 : 「技術報告執筆の手引き」の一部改正案
- 8)0225・7:「研究 会の 活性化に関する A 部門での意 見:未集約、討議中」資料
- 9) 0 2 2 5 · 8 : A 部門編集委員の推薦依頼文書

【議事】

- (1) 前回(#1)の 議事録の確認
- (2)(資料0225-1:-瀬委員長)

平成2 1 年度の活動計画について

技術委員会は、6月、9月、12月、3月04回実施予定。

見学会は、見送り。

研究会は、超電導関連デーマで3月ご3。共催も視野に入れるべき。但し、電気学会の研究会は若手の育成と意味もあり、発表の表彰制度もある。また、他学会との敷居が高い。(参照;資料02255.7)

技術会合も趣旨に合うが、トライしてみる価値はあるだろう。

金属学会、応用物理学会、低温工学・超電導学会など。時期的に学生であれば、修士論文の手直して済むので参加しやすれだろう。

調査専門委員会は、「熱電変換素子関連」を計画したが、見送りとする。予定していた委員長候補の先生が定年後、「熱電学会」を退会し、委員長候補が不在となったことが大き

な理由である。代わりの委員長候補が見つかるまで、設立は見合わせとする。

技術レビュー:委員長が作成、アップしていく。

技 術会合:調査専門委員 会が 終了したときに 開催する。 学会としては、フォーラム 開催を 推進している。 前回のフォーラムは 成功して、黒 字と なった。

(3)資料0 2 2 5 - 3

全国 大会シンポジウムは、7 月にまで企画を決めればよいが、きちんとした企画作りが必要である。

次回は、明治大学で実施するので、地域にあったテーマ、先生を選ぶことが必要となる。 ただき台を事務局(担当;岩城委員、木村幹事)で作成、次回提案する。

(4)資料0 2 2 5 - 4

東京 支部連合会は 見送る。

(5)資料0 2 2 5 · 2 :委員の分掌について 平成20年度と21年度で、原則体制は変更しないこととする。

(6)資料0225・9;編集委員の交代について

今まで 高木委員にお願いしていたが、編集委員の 再任は 妨げないので、高木委員に 再度お願いする ことでご 了解いただいた。

(7)その他

各委員の所属のアドレスを再確認すること。

以上